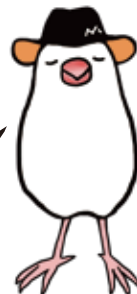




いったいどんな作品でしょう？
実際の作品については次のページをみてね。

自由な色にぬってもよし！
作品と同じ色に挑戦
してもよし！



もとの作品

あお がい ざいく
青貝細工 キャビネット

素材：木、貝、漆うるしなど

作られた時代：江戸時代後期



キャビネットは、物をしまったり、飾かざったりするための洋風の戸棚とだな（飾り棚かざりだな）です。

よく見ると、正面の扉とびらに鍵かぎがついています。あなたなら何をしまいますか？

おうちで知ろう！青貝細工

黒い部分には、漆うるし（漆の木からとれる樹液じゅえき）が塗ぬられています。

日本や中国などアジアの国では、何千年も昔から漆を使った食器や家具が作られてきました。

「青貝細工」は、漆製品せいひんをもっときれいに見せる、飾りつけぎほうの技法のひとつです。

キラキラ光っているところ（にわとりや草花の部分）には削けずった貝がらがはめこんであります。

長崎の青貝細工では、もとは白っぽい色の貝がらを、半透明はんとうめいになるくらいまで薄く削うすって使

います。はめこむ前に、削った貝の裏側から絵の具で色を塗かったり、線を描いたりします。

そうすると表に色すが透けて、貝の輝きかがやと重なって、とてもきれいに見えるのです。

200年ほど前には、長崎の青貝細工が外国への輸出品のひとつとなりました。

漆の木はアジアにしかありません。漆がとれないヨーロッパから見れば、とても珍めずらしくて

魅力的な品物みりょくてきでした。れきぶんに収蔵されている青貝細工の作品には、国内向けに作られた

ものと、外国へ売るために作られたものがあります。

れきぶんの2階歴史文化展示ゾーン内〔長崎の美術工芸〕コーナーでは
青貝細工の色々な作品を見ることができます

作品と同じ色にぬってみよう！
【拡大見本】

